

平成22年度 全国中学校体育大会

第32回 全国中学校軟式野球大会

～汗キ拉里 みんな輝け 岡山で～

【閉会式特集】

常葉学園橘中学校 全国の頂点に

4日間の熱戦に幕～第33回大会は和歌山で～

～汗キ拉里 みんな輝け 岡山で～のスローガンで始まった、第32回全国中学校軟式野球大会は、東海ブロック代表・静岡県・常葉学園橘中学校と東海ブロック代表・三重県・エスコラピオス学園海星中学校の東海ブロック同士の決勝戦となりました。東海ブロック決勝と同じカードとなったこの対戦を制したのは、常葉学園橘中学校。常葉学園橘中学校は、4試合全てが1点差ゲームで、延長戦も2回経験しました。青島君、高橋君の左右のエースを中心に、守りは堅く、攻撃面では機動力を使ってチャンスを得点につなげていきました。エスコラピオス学園海星中学校は、左のエース山中君が、切れのある直曲球をコーナーに投げ分け相手に得点をなかなか許さず、破壊力のある打線で得点を積み重ね、勝利をあげてきました。決勝戦も先行したのですが、惜しくも準優勝。チーム再開3年目で大きな成果をあげました。

今大会を振り返ると、全国大会出場を果たした24チームの選手が勝利を目指し、ひたむきにプレーする姿や、ベンチとスタンドが一緒になって力の限り応援する姿は会場の観客を魅了し、人々に大きな感動と勇気を与えました。また、どのチームも3年間で培われた力と技はさすがに全国のトップクラスであると感じました。試合も、僅差の試合が多く、バッテリーを中心に、守りからリズムを作り攻撃につなげるチームが多く、3年間の努力によって力をつけてきたチームが多いと感じました。

閉会式は、決勝戦の興奮冷めやらぬ倉敷マスカットスタジアムで行われました。優勝した、常葉学園橘中学校には優勝旗が、準優勝のエスコラピオス学園海星中学校には準優勝盾が贈られ、会場からも両チームを讃える惜しみない拍手が鳴り響きました。閉会式は、日本中学校体育連盟専務理事 塩田壽久氏の、「全力を尽くし、果敢に目標に挑戦していくところに向上があり、このことが、君たちの将来の人生に大いに役立つことになるはずです。また、感謝の心を忘れず、それが、形で表せるようになってほしい。」という言葉で締めくくられました。

来年度は、和歌山県(近畿ブロック)で大会が行われます。今大会以上の盛り上がりのある大会になることを期待しています。

最後になりましたが、今回の岡山大会の関係者への感謝と、さらなる中学校軟式野球の発展を祈念して総評とします。



来年和歌山で会いましょ
う！

